

環境から始める SDGs取組のすすめ

一般社団法人 埼玉県造園業協会版



埼玉県 環境部

埼玉県の支援策

【埼玉県環境SDGs取組宣言企業制度】



「埼玉県環境SDGs取組宣言企業制度は、企業や団体が行う、環境分野のSDGsの取組を応援する制度です。

宣言をした企業や団体の取組を発信し、皆様の取組を支援します。

・対象

埼玉県内に本社又は支社等を有し、県内において事業活動を行う企業、法人、団体、個人事業主

・宣言企業のメリット

- ✓ 宣言いただくと県から「宣言証」を発行します。受付や事業所等でのPRに是非、御活用ください。
- ✓ 県建設工事の入札参加資格の格付加点（5点）があります。
- ✓ メールマガジンで環境関連の補助金やイベント・企業募集等の情報を得られます。
- ✓ 県ホームページ等でSDGsの取組がPRできます。
- ✓ 先行事例の情報収集や企業等のネットワークづくりができます。
- ✓ 取組のPRで企業イメージが向上し、多様な人材の確保につながります。
- ✓ ビジネスの取引条件に対応できます。
- ✓ 社会的な課題への対応により自社の取組が深まります。

【手続きについて】

自社の取組と環境SDGsを関連付けてみましょう

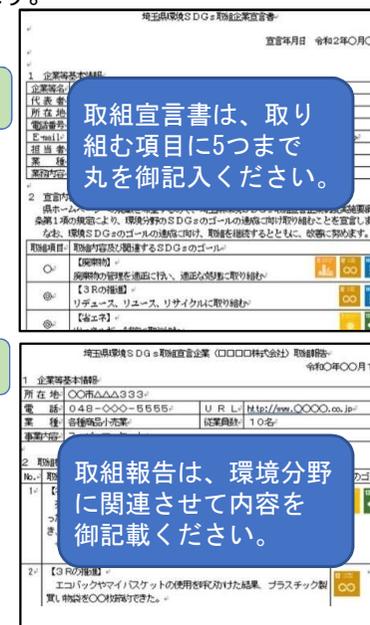
■ ステップ1 取組宣言書の提出
はじめに、取組宣言企業となるための「宣言書」を御提出ください。

宣言後、県ホームページに企業等の名称、取組項目等を掲載します。

環境SDGsの取組を更に進め、継続しましょう

■ ステップ2 取組報告書の提出
以降、原則1年ごとに進捗状況を確認し、「取組報告書」を御提出ください。
取組報告書を県ホームページで発信し、取組をPRします。

お問合せ：埼玉県 環境部環境政策課
(電話：048-830-3041 メール：a3010-11@pref.saitama.lg.jp)



CONTENTS

- SDGs活動を目指して 3
- SDGsとは 4
- SDGsは私たちに関係するのか? .. 5
- ここから始める環境SDGs活動
..... 6
- 造園業業界の
環境SDGs活動のヒント
..... 8
- 取組事例
・株式会社八雲造園 10



SDGs活動を目指して

はじめに

造園業の皆さんが日ごろの作業のなかで、当たり前に行ってきたことに、時代が追いついてきたように感じます。

とはいえ、かしまって『SDGs』と言われると、自分たちとは関係のないもののように思ってしまうのは、新しい言葉の魔法でしょうか。

例えば、

[11 住み続けられるまちづくりを]

[13 気候変動に具体的な対策を]

[15 陸の豊かさも守ろう]

私たちは、緑地や街路樹を適切に維持管理することで、住み続けられるまちづくりの一翼を担い、気候変動を緩和させ、生物多様性の保全に貢献しています。

今回、埼玉県環境部と協力して、造園業者がすぐに取り組めることや、実は気づかぬうちに取り組んでいる『環境SDGs』活動をまとめました。

ぜひ「埼玉県環境SDGs取組宣言企業制度」を利用するためのヒントとしてご活用いただくとともに、会員各社の環境対策の一助となることを心より祈念いたします。

(一社)埼玉県造園業協会 事業委員会

SDGsとは

SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない」より良い世界へ変革することを目指して、

- ①貧困や飢餓、教育などの**社会**の課題
- ②エネルギーや資源の有効活用、働き方や不平等など**経済**の課題
- ③気候変動など地球**環境**の課題

という、3つの側面から捉えることのできる17のゴールを、自分事として、私達が事業活動や普段の生活から、少しずつ未来の子供たちに良い社会、地球を引き継ぐことができるように活動していくものです。



【埼玉県環境部から】

下の図は、SDGsの全体像を理解するための概念図「SDGsウェディングケーキモデル」です。「社会」や「経済」の土台として「環境」があることを表しており、SDGsは環境を基盤に、持続可能な社会や経済を築くことを目指しています。

SDGsやESG投融資の拡大によって、企業等における環境配慮の取組が、より一層重要になることから、埼玉県環境部では、埼玉県建設業協会様をはじめとする関係団体様や企業様等の環境分野のSDGsの取組を支援しています。

「社会」「経済」の土台となる「環境」分野の取組は、全ての事業活動と密接な関わりがあります。日々の事業活動を見つめなおすことで、まずは「環境」分野から、SDGsの取組を始めてみませんか。



出典：Stockholm Resilience Center

SDGsは私たちに関係するの？

SDGsでは、誰一人取り残さないと前文に記載があります。皆さん個人、法人を含めて関係するものです。中でもSDGsには環境に関する目標がたくさんあり、我々の活動そのものがすでにSDGsに寄与しています。

また、企業においてはESG投融資の関係もあり、環境配慮に対してより一層の取組みが求められています。SDGsは皆さんが自分ごととしてとらえていただきたい活動です。

【取組メリットは？】

①企業イメージの向上…

SDGsへの取組をアピールすることで、多くの人に「この会社は信用できる」、「この会社で働いてみたい」という印象を与え、より、多様性に富んだ人材確保にもつながるなど、企業にとってプラスの効果をもたらします。

②社会の課題への対応…

SDGsには社会が抱えている様々な課題が網羅されていて、今の社会が必要としていることが詰まっています。これらの課題への対応は、経営リスクの回避とともに社会への貢献や地域での信頼獲得にもつながります。

③生存戦略になる…

取引先のニーズの変化や新興国の台頭など、企業の生存競争はますます激しくなっています。今後は、SDGsへの対応がビジネスにおける取引条件になる可能性もあり、持続可能な経営を行う戦略として活用できます。

④新たな事業機会の創出…

取組をきっかけに、地域との連携、新しい取引先や事業パートナーの獲得、新たな事業の創出など、今までになかったイノベーションやパートナーシップを生むことにつながります。

一方で、SDGsの取組のデメリットに大きなものは見当たりません。SDGsに取り組まないことは、人間活動によって生じた課題を世界共通の人類の課題としてとらえないこととなります。各国や各企業が独自にふるまってしまうと世界的な課題が十分に解消されずに逆に世界の状況がますます悪くなってしまいます。ゆくゆくは人間の生活自体が脅かされてしまう、安心・安全で平和な世界とは程遠い状態になってしまいます。

企業においても平和で災害の少ない世界でこそ、豊かなビジネスを展開できます。今後今までどおり利益重視で好きなようにふるまうと、それがかって経営リスクとして自らに跳ね返ってきてしまいます。このようなことがないためにも取り組む必要が今、あるのです。

ここから始める環境SDGs活動

1. 実はすでに取り組んでいる「環境SDGs」活動

これから、SDGs活動に取り組もうとしている方も多くはまずです。
造園業界は、公園や道路などの緑化と維持管理を通じて、暮らしに役立つ緑を守り、郷土の緑化に貢献する事業を行う業界です。

造園業界そのものが緑化等の事業活動を通じて環境の悪化を防ぎ、環境をより良くしていく業界です。各社が行っている事業そのものが「環境SDGs」活動です。

自社では当たり前と行って行っていることをSDGsを通して見直すことで、自社の業務に携わっていることに誇りを持ち、社員の皆さんのやる気につながっていきます。

- ・ 自社が行っている事業活動の意味を深く理解する
- ・ 都市公園等の指定管理者としての運営、協力
- ・ ISO14001を取得、研修を受講した

等々



コバトン

2. お客様から受託された事業の中でも取り組んでいる

あらゆる業界において、現在の事業活動の中で環境面の取組は、必要不可欠なものです。環境面に取り組むことは、コストダウンなどにつながります。下記のように既に取り組んでいる事項もあると思います。

- ①環境に配慮した原材料の調達をしている
- ②事業活動
 - ・ 廃棄物の分別回収
 - ・ 無駄なエネルギーを使わない
 - ・ 働きやすい環境を整える
- ③剪定枝や伐採材等のリサイクル化を行っている
- ④省エネ運転の励行、車両の保守点検を定期的実施する。



【 環境SDGsをどのように進めていくか？ 】



コバトン

まずは自社で省エネ・省資源という環境視点をもって作業改善、生活改善、生産性向上、稼働率改善を行なっていくと、結果として環境改善と経営改善が一緒に図れます。

①SDGsを理解する・・・

まずはこの冊子を社員や協力される皆様と読んでいただき、SDGsとは何かを知ってもらい皆さんで話し合い、考え方の共有を図ります。

②優先課題を決定する・・・

自社の活動内容の棚卸を行い、SDGsと紐づけて説明できるか考えます。

③目標を設定する・・・

何に取り組むか検討し、取組の目的、内容、ゴール、担当部署を決めます。
→取組の行動計画を作成し、社内での理解と協力を得ましょう。

④経営へ統合する・・・

取組を実施し、その結果をみんなで評価しましょう。

⑤報告とコミュニケーションを行う・・・

一連の取組を整理し、外部への発信にも取り組んでみましょう。



評価結果を受けて、②に戻って取組みを検討、展開します。

取組のテーマを選ぶ際には1.自社のサービスの強みを十分に活かすことができる、2.気になる関心がある、という理由でも十分ですが、3.自分の子供や孫にはこんな世界で暮らしてほしいという観点でも見つけてみてください。



会長
渡邊 進



事業委員会
担当副会長
三枝和男



事業委員会

**SDGsは時代の要請です！
ともに頑張りましょう！**

本「取組のすすめ」は埼玉県造園業協会の渡邊会長、三枝副会長(事業委員会担当)、事業委員会の協力で作成しました。

造園業界の環境SDGs活動のヒント

【事業活動のポイント】

1. 産廃物の処理

- ✓ 剪定枝や伐採材等のリサイクル資源化
- ✓ 刈草の堆肥化
- ✓ 廃棄物のリサイクル業者への持ち込み
- ✓ 資材廃棄時の分別促進



廃棄物の処理の取組は、12「生産・消費」、15「陸上資源」につながります。

2. 環境へ配慮した原材料・工具の使用

- ✓ リサイクル材の使用
- ✓ エコマーク対象商品の使用
- ✓ 電動工具の使用
- ✓ バイオエタノール燃料の使用



環境へ配慮した原材料の使用の取組は、11「都市」、12「生産・消費」、15「陸上資源」につながります。

3. 公園などの指定管理業務を通じた街づくり

- ✓ 環境教育プログラムの実施
- ✓ 緑化の推進および普及啓発
- ✓ 公園遊具や運動場を常に良好な状態に保つ



公園などの指定管理業務を通じた街づくりの取組は、4「教育」、11「都市」、15「陸上資源」につながります。

4. エコドライブ推進、エコカー導入

- ✓ ハイブリッド車や電動車両の導入
- ✓ 燃料電池運搬車両の導入
- ✓ 作業車両のエコドライブ



エコカーの導入の取組は、7「エネルギー」につながります。

5. 環境に配慮した事業活動の実施

- ✓ 肥料の適正量散布
- ✓ 植栽管理業務の実施
- ✓ 老朽木の更新



コバトン



環境に配慮した事業活動の実施の取組は、14「海洋資源」、15「陸上資源」につながります。

造園業界の環境SDGs活動のヒント

【事業所のポイント】



コバトン

1. 3Rを行動の基本に

- ①Reduce (発生抑制)
使用済みのものがゴミとして廃棄されないように配慮すること。
- ②Reuse (再使用)
使用済みのものをゴミとせず再使用すること、使えるものは何度でも使う。
- ③Recycle (再生利用)
ゴミも分別すれば資源となる。
→再資源化する際にエネルギーを使うことも考慮する。

2. 分別回収の徹底

- ✓ 廃棄物の分別回収
- ✓ 顧客の廃棄物分別を支援
- ✓ 最終処分量の削減、減量に取り組む



分別回収の徹底の取組は、11「都市」、12「生産・消費」につながります。

3. 省エネ・省資源

- ✓ 照明のLED化
- ✓ ペーパーレス化
- ✓ エアコンの適切な温度設定
- ✓ 作業効率向上のための習熟度向上教育



省エネ・省資源の取組は、7「エネルギー」、12「生産・消費」、15「陸上資源」につながります。



皆さんの会社がすでに行っていることが第一歩です！
小さなことから始めていきましょう！



株式会社八雲造園

代表取締役 三枝和男

「企業経営は人づくりから

～持続可能な社会の実現へ出来る事をコツコツ着実に～

■SDGsに取り組むきっかけ

私事ですが2017年から4年間とある奉仕団体で、人道的・教育的プロジェクトを実施するための補助金管理に携わっていました。資金を使い切った後でも地域社会が活動を維持継続できるような持続可能性の担保が必須の補助金で、利用条件には当団体の6つ（現在は環境を含む7つ）の重点分野に合致しなければなりません。その重点分野はいずれもSDGsの掲げる17の目標に含まれており、今後我々が進むべき方向性と重なると認識していました。

■SDGs活動のはじめの一歩

企業の責任として取り組んでいく事柄についてより詳細な情報を求めていたときに、埼玉県SDGs官民連携プラットフォームが設立され、当時の重点テーマが「未来を創る人材への投資」と「埼玉の豊かな水と

緑を守り育む」でしたので、我が社の理念と意を共にするものと即座に入会をしました。令和3年3月には埼玉県SDGsパートナー登録認証など自然な流れの中で社員のSDGsに対する意識の醸成や理解の推進に繋がって行ったものと考えています。

■SDGs活動の内容

昨今のヒートアイランド現象の抑制や、ゼロカーボンの実現に向けて当社が出来る事をしようと、当初は以下のような活動から取り組んでいきました。

- ・社内照明のLED化
- ・省エネエアコンへの切り替え
- ・管理文書のペーパーレス化



また、「企業経営は人づくりから」の理念から人的資源の充実に向けて

- ・多様な働き方の実践
- ・健康経営の導入
- ・女性活躍及び福利厚生の実充
- ・中・高校生の職場体験の機会提供を実施しています。

環境負荷の低減のための取り組みでは

- ・剪定枝や伐採材等の完全リサイクル化
- ・エコカーへの切り替えなど段階的なCO₂排出量の削減



その他には、県民の安全安心を守るための災害復旧対応など計画性を持った活動になってきました。

更には指定管理者のイベントとして、大宮第二公園において県民の皆さんと共に田植え体験や稲刈り体験、高所作業車試乗体験、パークゴルフ体験など生業を通じた地域振興にも活動の範囲を広げてきました。



■SDGsを定着させるための施策

まずはトップのコミットメントが重要なので、SDGsの目標が自社のどの活動に結び付くのか、日々の業務と絡めていく癖をつけるよう社員の皆さんに奨励しています。

また、環境SDGsセミナーなど関連する講習に適宜社員が参加する事により理解が深まり結果として更に意欲が高まるというサイクルが、段階的なステップアップと定着に繋がっています。

■SDGsを取り入れたメリット

社員自らがSDGsについて考える習慣が身に付き、工事で使用する資材を再生材や、より環境負荷の低い物に変更する提案を行うなどして発注者から好評を得ています。

長時間労働の是正のためにクラウドを利用したワークシェアや福利厚生の実充により特定の人員への負担が減るとともに職場の雰囲気も更に良くなりました。最近では社内にゴルフ同好会が発足されました。これらは従業員の定着に繋がるものと考えています。



■他社へのアドバイス

弊社ではSDGsの推進は誰もがWin-Winになる活動で社業の発展に繋がるものと捉え、出来る事から少しずつですがコツコツ着実に進めています。情報収集の手始めにエスキューブ（埼玉版SDGs推進アプリ）は手軽にSDGsを学習できて社員の皆さんの理解の推進にも役立っています。

■会社概要

株式会社八雲造園
 本社 埼玉県さいたま市見沼区
 染谷1丁目211番地
 創立 1966年（昭和41年）
 代表取締役 三枝和男
 mail : info@yakumo-zouen.com